

海洋深層水研究所のあり方検討会 全体の流れ

1 検討会の ミッション

研究所の「取水・分水機能」と「研究機能」についての、今後の中長期的なあり方を明らかにすること。具体的には、両機能について拡大・維持・縮小・廃止のいずれに向けて進んでいくか、その方向性における最適な5W1Hを検討する。⇒「基本構想」としてとりまとめる

2 検討会の進め方

検討段階

各段階の想定アウトプット

R
5

・県取水管閉塞状況調査（7月～8月）

県取水管内部の詰まり具合を水圧から把握
→県取水管の今後の使用可能期間の想定

ステップ1

▶海洋深層水研究所のあり方検討会
（外部有識者会議）

R
6

【R6年度夏～秋】・中間報告の作成

方向性（拡大・維持・縮小・廃止）、
→基本構想作成を委託するための仕様の整理

【R6年度下半期】ステップ2に要
する経費（委託経費等）をR7当
初予算へ計上

ステップ2

▶【R7】委託
施設・整備の基本構想と概算費用
の算定
→取水管敷設等を施行可能な事
業者または知見のあるコンサル
タントに委託実施

→取水施設・研
究施設の機
能・規模・概
算費用・整備
に要する期間
etcを整理・作
成

R
7

【R7年度末】「高知県海洋深層
水研究所の今後のあり方 基本
構想」の決定

基本構想の内容想定 ※委託結果を盛り込んだ内容で作成

① 現状分析	①-1 県研究所の施設や機能の現状のまとめ ①-2 本県における海洋深層水の活用状況	→更新の切迫度の判断材料 →拡大・維持・縮小・廃止の判断材料①
② 検討に要する情報	②-1 大地震（特に南海トラフ地震）発生時に おける取水施設への影響想定 ②-2 今後の海洋深層水産業の方向性の想定	→拡大・維持・縮小・廃止の判断材料②
③ 今後のあり方	③-1 取水・分水機能のあり方 ③-2 研究機能のあり方	→5W1H →5W1H
④ あり方諸要素	④-1 規模・概算費用額等の想定 ④-2 今後の中長期スケジュールの想定	

R
8
以降

ステップ3

▶基本構想の具体化→基本設計・実施設計

整備等

R5年度のスケジュール案

①第1回 あり方検討会 開催日時：R5.8.31（木）

- ・本県の海洋深層水振興や研究所の現状の共有
- ・検討会の全体の流れの確認

②第1回検討会后（事務局作業）

- ・R6に委託調査が必要な事項の予算化作業（～R6.2月）
- ・会でのご意見を踏まえて論点の整理

③第2回 あり方検討会 開催日時：R5.11.17（金）

- ・情報共有（取水管閉塞状況調査結果等）
- ・論点について協議

室
戸
市
内
で
開
催

④第2回検討会后（事務局作業）

- ・論点についての情報収集・整理

本日の会議

⑤第3回 あり方検討会 開催日時：R6.2.14（水）

- ・論点について協議
- ・R6年度の進め方について協議

R6年度へ